



2021年8月16日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号：4588)
問 合 せ 先 取 締 役 吉村 圭司
(TEL.03-5472-1578)

OBP-601 (Censavudine, TPN-101) の神経変性疾患を対象とした 2つの Phase 2 臨床試験に関するお知らせ

当社は、2020年6月に Transposon Therapeutics, Inc. (以下、「Transposon 社」) と核酸系逆転写酵素阻害剤 OBP-601 (Censavudine, TPN-101) の独占的ライセンス契約を締結しています。この度、Transposon 社が2つの神経変性疾患を対象とした米国 Phase 2 臨床試験の新薬臨床試験開始届 (IND) を米国食品医薬品局 (FDA : Food and Drug Administration) へ申請し、審査手続きが完了しましたので、お知らせいたします。

今回、Transposon 社によって開始される2つの臨床試験の対象疾患は、「進行性核上性麻痺 (PSP : Progressive Supranuclear Palsy)」と「筋萎縮性側索硬化症 (ALS : Amyotrophic Lateral Sclerosis) 及び前頭側頭型認知症 (FTD : Frontotemporal Degeneration)」です。これらの疾患は指定難病であり、未だ有効な治療法が確立されていません。

なお、何れの臨床試験も、プラセボを比較対象とした二重盲検試験で実施されます。

当社は2006年にYale大学からOBP-601を導入し、2010年にBristol-Myers Squibb Co. (以下「BMS社」) へ導出し、抗HIV薬のPhase 2b臨床試験を完了しましたが、2014年にBMS社の戦略変更を理由にライセンス契約は終了しました。その後、当社はTransposon社へOBP-601を再び導出し、今回のINDに至っています。

当社は、引き続き、Transposon社と継続的に合同開発委員会を開催し、OBP-601がこれまでにない神経変性疾患の治療薬へ開発されることをサポートしてゆきます。

本件による2021年12月期の当社業績への影響はありません。

以 上